

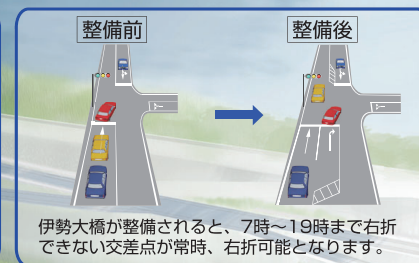
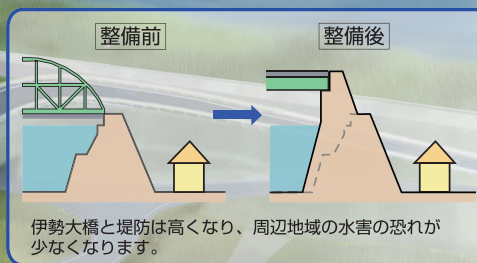
生まれ変わる伊勢大橋

1 桑名東部拡幅事業

■事業概要

一般国道1号桑名東部拡幅は、現道の4車線拡幅による渋滞緩和、交通安全確保及び昭和9年架橋で老朽化の著しい伊勢大橋の架替を目的に計画された、桑名市長島町又木から桑名市北浜町間の延長約3.9kmの事業です。

国道1号の重要な橋として大きな役割を果たしてきた伊勢大橋は、広い道路幅、歩道及び右折レーンを設けるなどの様々な対策を行うことにより、より便利で快適な橋へと生まれ変わります。また、現在抱えている交通渋滞といった問題の解消を図るだけでなく、観光地や主要都市などへの交通をスムーズにすることで、ネットワークを広げ地域の活性化を図る役割も担います。



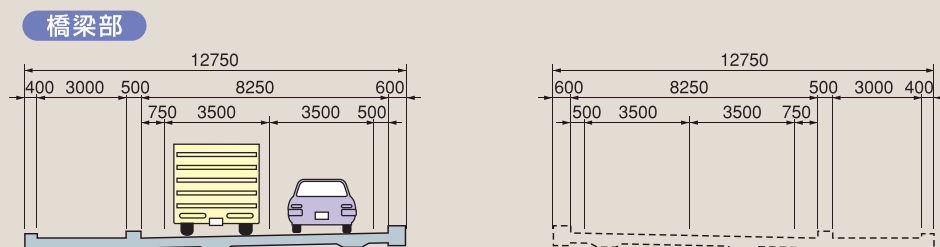
至 名古屋市

▲ 暫定2車線イメージ図

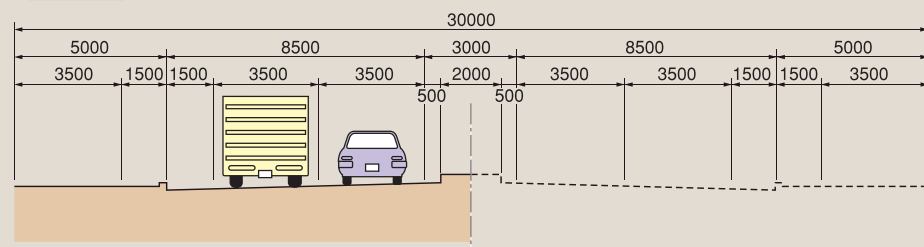
桑名東部拡幅プロフィール

路線名	一般国道1号	計画幅員	標準幅員30m (4車線×3.5)
事業箇所名	桑名東部拡幅	現道幅員	W=7.5m (2車線×3.5)
事業区間(起点)	桑名市長島町又木	事業化年度	昭和51年度
事業区間(終点)	桑名市北浜町		
事業延長	3.9km		
道路構造規格	第4種1級		
設計速度	60km/h		

標準断面図



土工部



都市計画関係

都市計画道路名	国道1号線
決定告示年月	昭和26年6月14日、昭和61年1月31日
計画延長	3,310m & 2,130m
計画区間	(都)千倉鎌ヶ地線～桑名市朝日町境
代表計画幅員	23.25m ~ 30m